

# 令和7年度第1回八千代市図書館協議会 会議録

## 1 開催日時

令和8年1月27日（火） 午後2時00分から午後3時45分まで

## 2 開催場所

八千代市教育委員会庁舎1階 第2会議室

## 3 出席者

### ◇八千代市図書館協議会委員（敬称略）

委員長	大木 めぐみ
副委員長	飯田 良
委員	北林 真理
委員	中村 史子
委員	柳井 正清
委員	鈴木 京子
委員	赤崎 有紀子
委員	寒河江 達雄
委員	力石 洋平
委員	佐藤 操

### ◇事務局

生涯学習振興課長	井澤 延浩
生涯学習振興課主幹	岩崎 乃吏子
中央図書館主査	佐藤 麻里子
中央図書館主査補	武田 智子
中央図書館主任司書	三澤 槇子
大和田図書館長	荒井 裕子
八千代台図書館長	石川 武志
TRC八千代中央図書館長	(株) 図書館流通センター職員 片村 瞬
勝田台図書館長	(株) 図書館流通センター職員 池田 優加理

4 公開又は非公開の別

公開

5 傍聴人定員及び傍聴人数

傍聴人定員 3名 傍聴人数 1名

6 議題

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 令和8年度事業計画について

7 会議資料

- (1) 令和7年度第1回図書館協議会次第 ※当日配布
- (2) 八千代市図書館協議会委員名簿及び席次表 ※当日配布
- (3) 令和7年度事業報告
- (4) 令和8年度事業計画
- (5) 図書館年報(2025年度)

発言者	発言内容
佐藤主査	<p>それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。私は本日の進行を務めさせていただく中央図書館主査の佐藤です。よろしくお願いたします。これより、着座にて失礼いたします。</p> <p>皆様本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。会議に先立ち、本日の会議資料を確認させていただきます。まず、すでに送付させていただいております、「令和7年度事業報告書」「令和8年度事業計画書」「図書館年報2025年度版」の3点と、また、本日配付させていただきました「令和7年度第1回図書館協議会次第」「八千代市図書館協議会委員名簿」「席次表」になります。不足している資料はございませんか。</p> <p>傍聴人の方にお知らせいたします。会議資料の閲覧については、会議中のみ閲覧に供し、会議終了後に回収させていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>次に、本会議は、八千代市図書館協議会運営規則第3条第2項により、委員の半数以上の出席で成立いたします。本日は10名の委員のうち10名の委員の方にご出席いただいておりますので、会議は成立となります。</p> <p>この図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関ですので、会議の中で、ご意見などございましたらぜひご発言ください。</p> <p>また本会議は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」に基づき、会議が公開となることから、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了承ください。なお、ご発言の際は、お手元のマイクの銀色のボタンを押してからご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>それではこれより、令和7年度第1回八千代市図書館協議会を次第に則り開催いたします。</p> <p>初めに、委員の皆様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、皆様には一言お願したいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">(委員紹介)</p> <p>委員の皆様、どうぞよろしくお願いたします。</p>

	<p>続いて事務局を紹介いたします。</p> <p>(事務局紹介)</p> <p>以上になります。</p> <p>それでは、議題（１）「委員長並びに副委員長の選出」となりますが、本日は委員の改選後初めての会議開催となるため、議長となる本協議会の委員長が選出されておられません。八千代市図書館協議会運営規則第２条第１項に基づき、委員の互選により決定することになっております。仮議長を立てまして、議事の進行をしたいと思いますが、仮議長の選出につきましては、事務局に一任いただけますか。</p> <p>(一同異議なし)</p> <p>ありがとうございます。それでは、仮議長は、生涯学習振興課の岩崎主幹にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
岩崎主幹	<p>改めまして、仮議長を務めさせていただきます、生涯学習振興課主幹の岩崎と申します。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。それでは議題（１）「委員長並びに副委員長の選出」ですが、どなたか立候補、あるいはご推薦はございますか。</p>
寒河江委員	<p>はい。</p>
岩崎主幹	<p>寒河江委員お願いいたします。</p>
寒河江委員	<p>はい。長年、図書館協議会委員をなさっている大木委員を委員長に推薦したいと思います。お願いいたします。</p>
岩崎主幹	<p>他にございませんか。それでは、大木委員、推薦をお受けいただけますか。</p>
大木委員	<p>はい。不束ですけれどもまた務めさせていただくことにいたしますので皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>

<p>岩崎主幹</p>	<p>大木委員より、ご了承いただきました。委員の皆様、ご承認いただけますか。</p> <p>(承認)</p> <p>それでは、委員長を大木委員にお願いいたします。委員長が決まりましたので、これで仮議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>佐藤主査</p>	<p>これからの議事進行については、八千代市図書館協議会運営規則第3条第1項の規定により、委員長が議長となります。委員長よろしくお願いいたします。また、委員長から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>はい。大木でございます。皆様のご協力のもと、これから進めさせていただきますと存じます。</p> <p>それでは最初に、副委員長の選出ですが、どなたか立候補、あるいはご推薦はございますか。</p> <p>立候補、ご推薦もないようですので、私の方から図書館協議会委員を経験されていらっしゃる飯田委員をご推薦させていただきたいと思います。飯田委員、推薦を受けていただけますか。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>私であれば、務めさせていただきます。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>それでは、飯田委員より、一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>昨年9月に文化庁発表の、「国語に関する世論調査」の新聞記事を見たのですが、読書離れが全世代で進んでいる。理由としてはスマホを利用している方がたくさんいて、結局そちらに時間を取られるということだそうです。ちょうど新聞記事に、学校読書調査が載っていて、読書は大切だという質問に対して、小学生、中学生、高校生とも、90%は大切と言っているにもかかわらず、読書が好きかという質問に変わると82%・73%・73%と年代が</p>

	<p>増えるに従って下がっていく。毎年5月に、全国学校図書館協議会（全国SLA）への読書量調査が学校でされておりますが、その調査結果によると、子供は小学生で90%、中学生は76%、高校生44%まで下がってしまう。たぶん大人も同じような状況が起きていて、本を手にする機会や図書館に行く機会が減っているのでしょうか。子供たちは図書館に行くと、とても喜んでいろいろな本を自分で探すのですが、その機会がない。何とかそこがうまく繋げられると、本好きになるというところもあると思っています。今までもやられていると思いますが、それに繋がるような対応が、皆さんの知恵を拝借しながら、実践されていくと良いのではないかと考えているところです。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
大木委員長	<p>飯田委員ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速、本日の議題（2）に入りたいと思います。議題（2）「令和8年度事業計画」につきまして、事務局より説明の方よろしくよろしくお願いいたします。</p>
岩崎主幹	<p>はい。私から、図書館全体の令和8年度事業計画と令和6年度事業報告を合わせて、説明いたします。</p> <p>まず、令和6年度事業計画、令和6年度事業について報告いたします。着座にて失礼いたします。</p> <p>配布資料図書館年報の13ページをご覧ください。令和6年度報告の記載がありますので、そちらに沿って説明をいたします。</p> <p>始めに令和6年度の活動状況としましては、5館を合わせて91万5,355冊の貸出があり、市内に所蔵している資料と、未所蔵の資料の予約を合わせたリクエスト処理件数は23万9,702件でした。主催講座の開催等につきましては5館合わせて1,449回の主催講座を開催し、延べ2万5,697人の参加がありました。また、絵本をきっかけとした、親子の心触れ合うひとときを作るためのブックスタート事業として、絵本を869冊配布しました。</p> <p>2番目の大和田図書館の本設としての使用開始につきましては、現在の大和田図書館は、大和田公民館との複合施設として、令和元年10月にリース方式で仮施設として整備しました。利用者の満足度、建物の耐用年数、財政負担等を踏まえ、5年間のリース期間の終了となる令和6年10月に本設の施設として、恒久的に使用す</p>

ることにしました。

3番目の中央図書館の自動出納書庫稼働に向けた準備につきましては、資料の効率的な保管、利用者サービスの迅速化及び作業の省力化を図ることを目的に、令和5年度から自動出納書庫の整備工事を行い、令和7年1月に完成しました。書庫入れ等の準備を行い、令和7年4月に稼働開始しました。

4番目に、図書館サービス方針と、子ども読書活動推進計画の策定につきましては、令和3年に策定した「第3次八千代市立図書館サービス計画」の計画期間終了に伴って見直しを行いました。国の方針や、図書館サービスを複合的に勘案し、令和7年度からの10年間を期間とする「八千代市立図書館サービス方針」を策定しました。また、令和4年に策定した「第3次八千代市子ども読書活動推進計画」の、子どもたちが自主的に読書に親しみ、読書習慣を身につけることができる環境づくりを目指すという基本方針を継承し、更なる推進を図るため、令和7年度からの6年間を、計画期間とする「第4次八千代市子ども読書活動推進計画」を策定しました。以上、令和6年度の報告でした。

次に、令和8年度事業計画について説明いたします。配布資料「令和8年度事業計画」の1ページをご覧ください。図書館全体の基本方針及び重点目標の記載がございますので、そちらに沿って説明をいたします。

はじめに、基本方針としまして、「八千代市立図書館サービス計画」の基本理念である「地域に根差したサービスを行う市民にやさしい図書館」を目指し、中央図書館を中核とした、市内全図書館が連携することにより、市民への効率的な資料提供やレファレンスサービスの充実に充実等に努めます。

また、市民一人一人の生涯にわたっての様々な活動と課題解決を支援し、暮らしに役立つ地域に根差したサービスを行うことで、知的要求に応じていくとともに、まちづくりの拠点として、郷土・行政に関する資料の収集や、ボランティア活動の支援を行います。

さらに、児童サービスや子育て世代へのサービス、障害者や高齢者に向けたサービスなど、対象者別に細やかなサービスを行い、読書活動の充実と利用の促進に努めて参ります。

続いて、重点目標としまして3点掲げております。1点目としましては、広報やちよ・地域新聞・図書館及び市ホームページの掲

片村館長

載、各所のポスター掲示、チラシ配布等で積極的な情報発信を図ることで、広報媒体への情報提供数の対前年度比増を目指します。

2点目としまして、未利用者へのPRの強化や、魅力あるイベント展示の実施等により、来館者数の対前年度比増を目指します。

3点目としまして、利用者のニーズや意見を把握するため、利用者満足度調査を行います。既に調査を行っている館は、利用者満足度の現状維持もしくは、満足の比率上昇を目指します。

以上をもちまして、私から図書館全体の説明を終わります。

続いて、各館長から、各館の令和7年4月から11月までの事業報告及び令和8年度の事業計画を説明いたします。中央図書館、大和田、八千代台、勝田台、緑が丘の順に説明いたします。

なお、大和田図書館と八千代台図書館は市が直営で運営しており中央図書館、勝田台図書館、緑が丘図書館は指定管理者が管理運営を行っています。それでは中央図書館からお願いします。

はい。それでは中央図書館から、まず事業報告4月から11月、こちらの1ページから2ページをご覧くださいまして、まず簡単に令和7年度の4月から11月にかけての事業報告を行わせていただきます。

まず基本方針としてはご覧いただいている通り、市内の中心館として、市内図書館4館への支援とともに、利用者の方々、すべてにおいて、図書館サービスの迅速な提供と実施に努めることを主にして参りました。

サービスとしましては子育てサービス、医療情報、ビジネス等、また市民ギャラリーと併設していることもございますのでそちらとあわせて、多様な図書館事業を実施しまして、図書館への来館を誘致するとともに、ボランティアの皆様等々活動を共にさせていただきまして、新たな学びや、仲間との出会いの場となるような、そういったものの創出に取り組むということでやって参りました。

2番目の重点目標に対する取り組みとしましては、こちらに記載している通りでございます。主に情報メールによるイベント情報の発信などが非常に図書館としては、市民の皆様には伝わるものであるということを今年度は、非常に確信をいたしました。情報メールを流してイベントなどをお知らせいたしますと、すぐに応募があるなど、そのようなところで情報メールの活用というのは、今後、必要

なものであると感じております。

来館者数につきましては、まず、昨年度の図書館協議会にて、中央図書館は今年度の来館者、目標数として30万人を設定させていただいております。現時点で、およそ月平均11月の末時点では月平均が2万7,095人という形の来館者数ではございますが、現時点ですと、年末年始のちょっと休館が入った関係もございまして、平均的には2万5,000人強といったところが、現在の月平均でございます。平均的に見ますと、このままいけば目標である30万人の来館者数は、達成できる見込みでございます。

続きまして利用者満足度調査でございます。令和6年度のこちらで行いました利用者満足度調査につきましては、いずれもサービス面、施設面スタッフの対応いずれも80%を超えたということで非常に高い評価をいただくことができて、7年度につきましても同じ項目でアンケートを行いました結果、施設面とスタッフ対応につきましては90%を超える満足度をいただくことができて、比較的上回ることができたのはよかったことではあるとは思いますが、ただ、サービス面について9割を超えることができなかったというところが、少し気になるところではございます。サービス面で非常に多かったのが、やはり駐車場1時間無料について、図書館を利用する際は無料の時間を延ばして欲しいということでしたが、こちらにつきましては図書館単館でできるという改善を見込むことができるものではございませんので、引き続き、こちらについては、検討をさせていただくものになるかとは思いますが。

あと、速報の報告と致しましては、今年度、図書館を使った調べる学習コンクールを毎年行っておりますが、全国コンクールの結果が出まして、今年度、市内の小学校、中学校、高校で参加いただきました作品数が全部で3,369作品ございまして、そのうちの上位1.5%、51作品が全国コンクールの方に出品となりまして、今年は51作品のうち、7作品が奨励賞を受賞、そして44作品が佳作入選ということで、10年連続で、全国コンクールでの選考会がないといった状態でございます。非常に良い作品が出ていることかと思っております。

続きまして事業計画の方に移らせていただきます。事業計画になりますと、中央図書館は2ページ、3ページ、4ページとなります。基本方針としましては、やはり図書館サービスの中心館としての役

割と、あと地域に根づいた地域館としての役割を両方あわせ持ったものとして、やはり同じく市内4館への支援を行い、また、すべての利用者に迅速な図書館サービスの提供に努めるということは、こちらについては引き続き行っていきたいと思っております。

2番目、重点目標に対する取組でございますが、今年度の取り組みにあわせまして、1つ新規取り組みを予定しているものがございます。地域新聞へのイベント情報の掲載というのを追加させていただきました。といいますのも、中央図書館の利用登録を年間でみますと、近隣市からの利用も多く、昨年度は、近隣市の登録が429名、令和5年度になりますと374名と、比較的周りの近隣市からのご利用も多いということで、地域新聞、こちらにつきましては、近隣市の方にも情報が流れるということもございますので、まずこちらの方のイベント情報の掲載を、取り組んでみたいと思っております。

続きまして来館者数につきましては先ほど申し上げましたが、11月の時点では月平均約2万7,000名になっておりまして、前年度比で10%の増加、今年度は、令和6年度に対して10%増加となっております。10%増加というところにつきましては、今年が中央図書館開館10周年ということでもありまして10周年の記念のイベントなども行いましたので、そちらの影響があるかなと思っております。

また7年度にオンラインアンケートの実施を検討させていただいたんですが、こちらセキュリティー面で、やはり利用者の方から情報をいただくということになりますのでセキュリティー面を重点的に信頼をおけるアンケートフォームを探してはいたんですが、今のところ少し気になる場所があり、確実にここをお願いしたいというところが今、選考に難航している状態です。7年度中の実現が少々難しい状況でございますが、8年度はこちらの方で、アンケートフォームの設定をさせていただきまして、図書館に来ない方などにも宛てて、オンラインアンケートを実施して、どういったら図書館に興味を持ってもらえるかとか、また図書館に求めるものなどをアンケートとして取ってみたいなどと思っております。

また、令和8年度は、今年度のような10周年のアニバーサリーのイベントなどがちょっと行わないことも考えまして、また昨今の図書館状況を見ますと、軒並み、来館者数が低迷していると

いう状態もありますが、ただ現状維持ではなく5%増31万5,000人ほどを超えられるように、来館者数としては設定をさせていただこうと思っております。

利用者満足度調査につきましても、先ほど申し上げました通り、比較的、施設スタッフの目につきましては90%を超えるということで、比較的良い数字ではあると思いますが、まず図書館サービス面で、9割がた皆様から満足いただける結果をいただければと思っています。また、こちらにも記載がございますが、少々中央図書館のこちらの満足度調査においては、そもそものところでアンケートの分母が少し少なかったと思われまますので、こちらの方にも少し課題が残るかなといった結果にはなりました。アンケート数の分母を増やすということで、今は、各所に一応記載台等にアンケート設置を行っていて、カウンターに来た方には直接手渡しといったことはやっていたんですが、それ以外にも、例えば、貸出機のところに、わかるように置いておくとか、目につきやすいところに置く場所を考えたほうが、皆様にアンケートが目につくかなと思いますので、そういったところでこちらのアンケートのアピールを含めてやっていきたいと思っております。

事業内容につきましては、こちらの3ページから4ページに記載されている通りでございます。また図書館サービスにつきまして、イベントがワンパターン化しているように思うというご意見がいくつか散見されましたので、こちらもあわせて、来年度は少し、現在引き続きやっているイベントというものもございしますが、そういったものもちょっと一新してやってみたいと思っております。今年度ちなみに初めて行ったものとしては、フルルガーデン八千代、八重洲ブックセンターとコラボレーションさせていただきまして、書店と図書館のコラボレーション展示というものをやらせていただきました。こちら非常にお互いにウィンウィンになるような結果で、今回は書店員の方のおすすめ本を図書館で紹介するというものをやらせていただいたんですけども、こちらの方では、図書館に来て書店員さんのおすすめ本が見られるってのは結構面白いものだったようで、比較的予約、展示本の予約が増えて、それに合わせて貸し出しも増える。そして、こちら図書館で貸し出されてないものにつきましては、書店で購入できますよというような、そういったポップをつけさせていただいて、書店案内させていただきまして。そうし

<p>荒井館長</p>	<p>ましたら来店者の方が結構いらっしゃったという話を書店さんの方からもいただいております。お互いウインウインになれた結果かなと思っております。長々と失礼いたしました。以上、中央図書館からのご報告でございます。ありがとうございました。</p> <p>大和田図書館から説明させていただきます。大和田図書館の事業報告について説明いたします。事業報告書の3ページをご覧ください。</p> <p>大和田図書館の基本方針につきましては、大和田公民館との連携に努め、また、児童や親子対象の行事に力を入れて事業を行っております。</p> <p>次に、重点目標に対する取組 ①広報媒体の情報提供につきましては、今年度はポスターの配布に力を入れてみました。近隣の幼稚園、小学校への配布は、令和6年度は2回でしたが、今年度は4回に増やしまして、学校も、1校から2校に増やして広報しております。その他手話のおはなし会などは社会福祉協議会などにも、ポスターの掲示をお願いいたしました。</p> <p>来館者数につきましては、令和7年度イベント展示の充実に努めました。残念ながら多少減少の傾向にあります。</p> <p>利用者満足度調査につきましては、大和田図書館は令和5年度に行いまして、その数値より、今年度、サービス面、それから職員の対応については、高い評価をいただいております。今回が施設については設問を設けません。図書館資料に限定して伺いましたところ、新しい本が少ないなどの意見が多くありまして、この点につきましては、今後も展示などで新しい本をご紹介したり、古い本を除籍して見やすい棚をつくることなどを努めていきたいと思っております。</p> <p>次に、行事の詳しい報告は14ページとなります。こちらの9番17番の親子でチャレンジが、大和田公民館との共催事業になっております。それから11番の手話のおはなし会は、八千代市聴覚障害者協会の方にボランティアでご協力いただいております。それから4番の保育園おはなし会、こちらは大和田西保育園5歳クラスが歩いて来館してきております。夏の暑い時期は職員が絵本を持って園を訪問いたしまして、このときには4歳クラスなども一緒に参加していただいております。また来館時には、こちらで本の貸し出し</p>
-------------	---

も行うこともございました。それから、学校との連携の方は、17ページの、真ん中の下の方になります、大和田南小学校の町探検、それから八千代台西中学校の職場体験を受け入れいたしました。事業報告は以上になります。

続きまして、事業計画を説明いたします。令和8年度事業計画の、資料の5ページの方をご覧ください。

基本方針は今年度に引き続きまして、公民館との連携に努め、児童や親子対象の行事に力を入れて参りたいと思っております。

(2) 重点目標に対する取組 ①広報媒体への情報提供。こちらは、来年度は、情報メール及びLINEによるイベントの発信を今年度より増加して行いたいと思っております。イベントに参加した方に聞きますと情報メールを見てきた方が大分多くなっておりましたので、そちらに力を入れたいと思っております。

それから、②の来館者数。こちらは、できれば、減少傾向を止めて増加を目指したいと思っておりますので、少し微増の、3万4,500人を目標といたしました。

③の利用者満足度、こちらがすみません。3行目が間違えた数字が入っておりますので訂正をお願いいたします。事業報告の数字が正しくなっております。図書館サービスは91.6%、図書館資料が58.0%、図書館スタッフは98.4%が正しい数字となります。申し訳ありませんが訂正をお願いいたします。こちらも、来年度も利用者満足度調査を行い、図書館サービスとスタッフについては、現状の水準の維持向上に努めたいと思っております。図書館施設についても、同じく高い評価をいただけるように努めて参りたいと思っております。

続きまして6ページ7ページが、イベントの予定表になります。こちらが公民館との、共催の事業が、7番から9番になります。7番の「親子でチャレンジ」は、今年度に引き続き、4・5歳ぐらいの親子を対象にした行事になります。親子で和紙に絵を描いていきますが、講師のアドバイスをいただきながら、ゆっくりと描いていただいております。完成した作品はおはなしコーナーの壁に1ヶ月ほど掲示して、皆さんにご覧いただく予定です。8番と9番が新しい事業になりまして、まだ正式な名称は決まっておりますが、8番の大人対象の「工作会」は、大和田公民館の方に工作の指導をお願いしまして、図書館職員は工作に関する本を用意して、紹介して

いきたいと思っております。9番目の子ども対象の「工作と読み聞かせの会」も、大和田公民館の方に工作の講師をお願いしまして、図書館職員は本の読み聞かせと紹介をしていく予定でおります。その他の行事が、今年度に引き続き行っていきますが、18番目の「秋の読書スタンプフェア」は、今年度初めて行いました事業で、スタンプを8個集めた方にはおすすり本を書いていただきまして、そのおすすり本を後日一覧にして、本を集めてミニ展示で紹介したところ好評でしたので、この事業も併せて行いたいと思っております。また、一覧に掲載しておりませんが、季節ごとに児童室のおはなしコーナーの壁に飾りを貼るイベントや、一般室、ティーンズコーナー、児童室1階2ヶ所と2階1ヶ所の本の展示なども継続して行って参りたいと思っております。以上です。

石川館長

それでは、八千代台図書館より、事業報告及び事業計画についてご説明を申し上げます。恐れ入りますが、着座にて失礼いたします。資料が前後して恐縮ですが、令和7年度事業報告書の4ページをご覧ください。八千代台図書館の令和7年度の事業実績についての説明となります。

(1)の基本方針をご覧ください。方針につきましては、概ね記載の通りでございますが、補足といたしましては、八千代台図書館の利用者層を日々観察し、一般・児童ともに選書や定期的な催しの開催、展示を含めまして、市内のすべての図書館に倣い、それを超えるような運営を目標に日々、調査研究を行って取り組んでおります。

(2)重点目標に対する取組をご覧ください。目標及びその取り組みにつきましては、ご覧の通りでございます。スタッフの努力で短期的には一定の成果が出ていると見ておりますが、概ね、今後とも努力の余地は多くございます。何より利用者様から日々励ましの言葉であるとか、厳しい言葉を頂戴しておりますが、それは八千代台図書館の糧とさせていただいて、全て受けとめて運営を実施させていただいております。

令和8年度事業計画をご覧ください。8ページの八千代台図書館の計画となります。(1)の基本方針・特色をご覧ください。詳細はやはり記載の通りでございますが、当館は八千代台駅の駅前に近く、バランスのよい年代の利用が見込めますので、新規の利用者の

取り込みや、その定着を図ることも、課題の1つとしております。そのためにも、利用者目線に立ったピンポイントでの選書であるとか、あるいは令和7年度に引き続き、一般向け児童向けのイベントの実施などを心がけております。イベントにつきましても、従来の良いイベントにつきましても、引き継ぎつつも、ただ継続するだけではなく、調査研究を重ねることによりまして、可能な限りの新しい試みや、好評な催しのアップデートを図って参りたいと思っております。図書館の施設の建物の、基本の古さというのは、いかんともしがたいところでございますが、建物管理につきましても資産管理課や中央図書館などと連携しながら、可能な限りの修繕を実施して参りまして、現況の評価や監視にも継続しております。安心安全な読書環境の提供に継続して努めて参りたいと思っております。

(2)の重点目標に対する取組をご覧ください。同じく詳細はご覧の通りでございますが、特徴のある点をご説明申し上げます。その前に1点失礼でございますが、訂正がございます。③の利用者満足度の3行目、図書館施設とございますが、こちら、図書館資料の誤植でございます。大変申し訳ございません。

それでは、①の広報媒体の情報提供数をご覧ください。こちらの数値目標につきましても、もう少し野心的な数値を設定すべきではないかとも思えますが、現況、イベント数に対しまして、ほぼイコールでイベント情報の発信をしておりますので、現況当館からすれば、提供数としては、最大限近くの発信を行っておりますので、LINEでの発信であるとかその他、中央図書館のようなミニコミ誌を利用した発信であるとか、あるいは商業施設への掲示板の利用等、適切な媒体の調査研究を継続して参りまして、図書館からの情報発信数は増やして参りたいと思っております。

②の来館者数をご覧ください。当館の来館者数はここ2年ほど、約4万人で推移しております。4万人に対し3,000人という数値目標は、大体八千代台図書館のひと月当たりの月間来館者数に近い数値でございますが、ややチャレンジングな目標数値にはなりますが、コロナの前には達成できていた来館者数の数でもございますので、コロナ前後で八千代台図書館を取り巻く環境が大きく変わったとはいえ、過去にできたことが今にできないということはないと思っておりますので、ハードルは少し高く設定しておりますが、挑戦を続けて参りたいと思っております。

<p>池田館長</p>	<p>利用者満足度につきましては、想定よりは高めの評価は頂戴致しましたが、特に図書館スタッフに対しては、要改善の部分も多くございますので、こちらは結果を共有して、来年度以降の巻き返しを図って参りたいと思います。</p> <p>いずれにしても、今後も小さいなりに、八千代市でもナンバーワンと呼ばれるような図書館と評価されるよう、常に未来志向の運営を努力して推進して参りたいと思います。八千代台図書館からは以上となります。</p> <p>続きまして勝田台図書館から報告させていただきます。まず、令和7年度の事業報告から報告させていただきます。令和7年度の基本方針につきましては、6ページでございます。勝田台図書館は、以前より、高齢者の利用がかなり多く、利用者層の中心になっていることから、高齢者サービスを中心に図書館サービスを実施して参りました。今年度も、高齢者向けのイベントを多く実施したり、基本方針に沿って事業を実施しております。また、近隣にあります小中校に通う生徒も多いため、若い世代の図書館利用の促進に向けてティーンズサービスをより強く強化していました。こちらの事業報告の、15ページに事業一覧がございます。今年度ティーンズサービスで増えたイベントといたしましては、13番目の「めぎせ！未来の漫画家～はじめの一步～」、それから「出張！漫画編集部」というイベントで、昨年度より引き続き、その他に、八千代市の身体障害者協会より講師をお招きしまして、こちらにはちょっとないんですけれども、12月には「手話体験講座」の2回目を実施しております。どちらのイベントも近隣の高校生、中高生が参加してくれまして、かなり盛り上がったイベントとなりました。</p> <p>また、日本全体の問題として、高齢者に向けたICT教育の問題がございましたので、勝田台図書館では、一般の事業者の方を講師に招いて「シニアのためのスマートフォン入門講座」を新たに実施させていただきましたところ、こちらはかなり反響がありまして、元々募集していた枠よりも、多くの方より申し込みがあつて残念ながらちょっと定員が埋まってしまったので、お断りをさせていただいたんですけれども、こちらは来年度も継続して実施する予定でございます。</p> <p>2番目の重点目標に対する取組ですが、特に勝田台図書館は、高</p>
-------------	---

齢者の方や、若い世代の方から、図書館の開館状況についての問い合わせが多くいただくため、図書館の開館時間に時間を作って問い合わせいただくよりも、XやInstagramといった、ご自身でアクセスして情報を受信することができるように、こちらの、SNSをうまく運用して発信することも特に重点目標として取り組んで参りまして、こちらを見て図書館のイベントに参加しましたという方が多く見られました。

また来館者数につきましては、年々増加をしていたんですけども、昨年度より今年度、やや減少傾向にございますので、11月までの実績においては若干増ではあるんですけども、今年度の合計では8万7,000人の目標を達成するような見込みになっております。

また利用者満足度調査につきましては、こちらは、昨年度より、実は回収の数が増えておりまして、110%程度回収率が上がってございましたところ、満足度がやや下がるという結果になってしまって非常に残念ではあったんですけども、特に、下がっております図書館サービスについては、やはり蔵書問題が多く書かれておりまして、資料が古いやはり大和田図書館と同じように資料が古いといった声や、図書館施設については、閲覧席が少なく、図書館にいられないというような意見を多く見られました。こちらをすぐに解決することは難しく、中央図書館に自動出納書庫が入りましたので、蔵書については、中央図書館と連携して、問題を解決する見込みであります。

続きまして来年度、令和8年度の事業計画につきましては、お話しさせていただきます。基本方針は今年度に引き続き高齢者向けのサービスやティーンズサービスの強化に力を入れていくとともに、今年度にはなかった子育て世帯の家族に対するサービスにも力を入れていこうと思っております。近隣小中高等学校に通う生徒の図書館利用の促進のために、もっと図書館に親しみを覚えてもらうようなイベントの実施も検討しております。

(2) 重点目標に対する取組につきましては、前年度比からほぼ現状維持を考えているんですけども、情報メール及びLINEによるイベント情報の発信や、近隣の公民館や学校へのポスター掲示、チラシの配布については、こちらはかなり、結果が見込めることがわかりましたので、現状より増加して行うことを考えておりま

す。

また来館者数については先ほども申し上げた通り、毎月の来館者数の増加があまり伸びていない傾向から、今年度は令和7年度と見込み同様、8万7,000人を目標としたいと考えております。

また利用者満足度調査については先ほども申し上げました通り、図書館サービス、特に蔵書に関するところを中央図書館と連携して、解消することを計画しております。

また、図書館施設についてはなかなか解消が難しいということですが、そちらについても、既存の施設をうまく活用できるように、色々なことを検討していこうと思っております。

イベント事業の内容については、12ページ13ページに書かれている通りです。開催数につきまして、イベントの内容に沿って回数を増やしたりということも検討しております。特に中高齢者向けサービスについては、毎回、ほぼ定員が埋まるようなイベントが多く、内容をもっと聞きたかったので枠をふやして欲しいという声も多くいただいておりますので、引き続き実施するイベントにつきましては枠を広げたり、そのイベントで、要望のあった新しい内容のイベントも検討しております。勝田台図書館からの報告は以上となります。

森本館長

最後に緑が丘図書館からご報告いたします。まず、令和7年度の事業報告ですが、8ページをご覧ください。基本方針につきましては、来年度もほぼ内容を踏襲しておりますので、来年度の計画のところでご説明します。

(2)の重点目標に対する取組ですが、1番の広告媒体の情報を提供するというので、大体情報も毎日発信し、目標を達成しております。

2番目の来館者数については、11月までの実績は6年度の12.3万人に対して7年度は13万人ということで、7年度合計で18万人の目標を達成できるものと考えております。

3番目の利用者満足度調査ですが、6年度は、満足やや満足、合計でサービスについて87%、これが7年度は89%、図書館施設についてが94%、これが95%に、そして図書館スタッフが98%、これが99%と、すべて向上しました。ということで、まずは7年度のご報告を終えたいと思います。

続きまして8年度の計画です。8年度の計画の14ページをご覧ください。(1)の基本方針と特色ですけれども、緑が図書館の周辺はファミリー層に人気の新興住宅地で、子育て世代の家族に対するサービスに力を入れていきたいと思っております。また70歳以上の高齢者の割合も少しずつではございますが増加しておりますので、高齢者に向けたイベントの充実も図っていききたいと思います。今まで高齢者へのイベントといいますと上映会ということで、映画の上映をしていたんですけれども、それに加えて、今年度はつまみ細工というような高齢者に、人気のイベントを実施しました。このようなイベントをまた来年度も実施していきたいと思っております。

それから、ボランティアの皆さんから積極的にご協力いただいております。「本だいすき！」の会さんをはじめとして、様々なボランティアの皆さんからご協力いただいております。おはなし会を毎日実施することができております。そして、緑が丘図書館では近隣中学校の萱田中学校から、文芸部員がボランティアとして活動してくれています。年に3回から4回、おはなし会をしたり、それから配架の手伝いをしてくれたり、そういうことをやっています。これが1つの当館の特色だと思っています。これを来年度も継続していきたいと思っています。文芸部の中には、将来、図書館司書になりたいと言っている人もおり、文芸部のおはなし会だけでは物足りず、個人的にもおはなし会をやりたいという申し出もありました。残念ながら、先日それを企画していたんですが、インフルエンザでちょっと来ることができずに、その人の妹さんが小学生なんです来てくれて、小学生が小さな子供たちに読み聞かせをするということもやりました。来年度もそういうことを、もっともっとやっていきたいというふうに考えております。

それから(2)の重点目標に対する取組ですが、来年度は、情報メール及びLINEによるイベント情報の発信を新たにやりたいと思っております。

来館者数については、今年度の18万人を維持できるように頑張っていきたいというふうに思っております。

利用者満足度につきましても、何とか現状水準を維持、向上していければというふうに思っております。

それで来年度の事業内容につきましては、15ページ16ページにある通りです。以上で、緑が丘図書館のご報告を終わります。

大木委員長	<p>各館の皆様どうもありがとうございました。ただいまのご説明に對しまして、ご質問、ご意見などございましたら、挙手の方お願いいたします。</p>
柳井委員	<p>質問と要望でございますが、まとめて申し上げてよろしいですかね。まず1点目なんですけれども。利用満足度はアンケートが総じていい結果で、私もヘビーユーザーとして喜んでおるんですけれども。中央図書館さんの方で、分母が少なかったというような、見直しがあつたと思うんですけれども、数としてパーセンテージじゃなしに、何名ぐらいアンケートをお取りになつたんでしょうか。</p>
片村館長	<p>回答させていただきます。こちらの方で、実際にいただいた数でございますが、およそ100程度しか集まらなかつたんですね。なのでこれにつきましては、せめて400以上は欲しかつたかなといつたところはございますので、もともと中央図書館プラス市民ギャラリーの、あわせての施設の利用者満足度調査のアンケートということもございましたので、お隣のオーエンス市民ギャラリーと合わせまして、もうちょっと配布の仕方であつたり、そういったところを検討する必要があるかなと感じています。</p>
柳井委員	<p>100人というと、例えば1人2人増えるだけでパーセンテージが増えそうですね。ちょっと母数が少ないという事が、他の図書館の方の調査、特に母数を増やすことが書いていないということは、大体満足をされた数を確保されてるという理解でよろしいんでしょうか。先ほど申しました、パーセンテージですと、100人で1人変われば1%前後しますし、要は母数がどれぐらいの規模で、満足度をお諮りになつてるかということをおよそ知りたいためにお尋ねするんですけれども。</p>
石川館長	<p>直営館の大和田や八千代台図書館につきましては、満足度調査を、以前も同じような試みは実施しておりましたが、「図書館サービス方針」に則りまして、今年度から、毎年度行っていくという方針でございます。なので、今年、八千代台図書館でいえば大体250ぐらいの回答が来たんですけれども、それが今後、母数が維持できるかは何とも言えませんが、いずれにしても今後とも図書館アン</p>

	<p>ケートの質を担保する上でも母数を今年以上にしていきたいと思えますので、今後の指針につきましては指定管理館も含めまして、協議して参りたいと思っております。</p> <p>指定管理館につきましてはの状況は、指定管理館の館長より、回答させていただきます。</p>
森本館長	<p>緑が丘図書館につきましては、今まで利用者満足度調査を毎年実施しておりますが、大体300数十名の方にご回答いただいております。緑が丘図書館の場合はカウンターでお貸し出しするときに、アンケート用紙をお配りしております。多くの方にその場で回答していただいているようで、多くの皆さんからの、アンケートを集計することができていると考えております。</p>
柳井委員	<p>私は地域の読書会の責任者をしてます。緑が丘で約20年の歴史の読書会がございまして、約10名ほど集めましてやっておりますけれども、八千代市で読書会というのはどれぐらい数があるのでしょうか。実は横の繋がりがありませんから、他の活動がどんなふうにされてるかどうか、大変興味があります。八千代市の他の、いわゆる市民ブッククラブがどれぐらいあるんだろうかというお尋ねなんです。</p>
大木委員長	<p>八千代市の図書館の読書会の詳細について、おわかりになる方いらっしゃいますか。</p>
三澤主任司書	<p>私の方から回答させていただきます。図書館の方でもすべての団体は把握をしておりますが、図書館の十冊文庫を使っている団体で、現在八千代市内で活動されているのは、緑が丘読書会さんの他、八千代台のりんどう読書会さんの2つの団体のみとなっております。少し前にはもう1団体あったんですけども、現在は活動をしておりません。</p>
大木委員長	<p>柳井委員さん、今の件でよろしいですか。飯田委員さんが、ご質問あるのでよろしくお願いします。</p>
飯田委員	<p>ボランティアについてお伺いしたいんですけども、社会全体で</p>

	<p>人手不足，それから職員の方も働き方改革ということで，まさにボランティアの活用ということが社会全体で求められるのではないかなと思います。先程伺った中で，それぞれボランティアの募集とか発掘，それから継続的に行ってもらうために，どんな手だてをされているというところ。またそれが，それぞれの図書館独自で行われているのか，あるいは市全体なのか。まさに生涯教育振興課というか，八千代市全体で何かそういう人材バンクみたいなものを持って，活用しているボランティアの事例について，教えていただければと思います。以上です。</p>
大木委員長	<p>この図書館に関係するボランティア，どちらの館の方でも結構ですが，何かこういう方針でとか，こういうことをやっていますということとはございますか。</p>
石川館長	<p>ボランティアにつきましては，公民館のようにまとまった人材バンクのようなシステムがございませんので，基本的には各館ごとで活動をお願いしてるというような形になります。八千代台図書館に関してというお話にはなりますけれども，おはなし会に関して，主に過去に図書館などでおはなし会の活動などをされていた方を中心にお願いしてるんですけれども，年度更新のような形で，ボランティアの方へ，こちらからお願いするような形で依頼しまして，引き受けていただいている方に，申請書を提出をしていただきまして，館長の承認のもとに，定期的なおはなし会にご協力いただいております。八千代台図書館では，それ以外のボランティアの活用というのは，今のところ考えていないんですけれども，今後ボランティアの活用につきましては，飯田委員のおっしゃる通り，非常に大きな課題でございますので，同じく今後とも調査研究を重ねて，活用というところを検討して参りたいと思っております。以上になります。</p>
大木委員長	<p>ボランティアというのは，飯田委員としては，おはなし会以外で何か，職員さんの仕事の軽減とかそういうこともイメージしていらっしゃるんですか。</p>
飯田委員	<p>図書館では，本を整理するとか，移動するとか，そういったことも，協力してもらえればいいと思います。募集があれば，やっても</p>

<p>大木委員長</p>	<p>構わないという方もいらっしゃるのではないかと思います。先程緑が丘図書館でおっしゃっていた文芸部の子どもで、もっとやりたいというやる気のある方が、そこだけで1回で終わってしまうのではなく、できれば他のところでも繰り返してやりたいというお気持ちの方がいらっしゃると思いますし、こんなことであれば協力したい、できれば図書館に行って、本を借りるついでにというようなことも、できる方がいらっしゃると思うので、そんな活用もいいのではないかなと思ったところです。以上です。</p> <p>そうですね。ボランティアの幅を広げておはなし会のみならず、様々な仕事がきっとあると思うので、そういったことも、これからの課題かもしれませんね。他に何かご質問、ご意見ございますか。</p>
<p>片村館長</p>	<p>中央図書館からよろしいでしょうか。先ほどのボランティアのお話の件なんですけれども、中央図書館は実はいわゆるティーンズ世代、10代の世代に向けて、図書館サポーターの募集という説明会を行っておりまして、実は今年も、それに参加してくださった方が今中央図書館で、人材発掘という場ではないですけれども、そういった説明会の開催というのを中央図書館ではやらせていただいております。そこで今中学生の子が1人、配架ボランティアと、あとはヤングアダルトコーナーというんですかね、あちらの展示を中学生の子が、10代目線で、こういった本を他の友達に読んで欲しいというのを選んで展示してくれたり、あとそれをポップにして読むお勧めポイントみたいなのを書かれて、それを貼ってくれたりとか、そういったところで、ちょっと若い子向けの中央図書館としてはちょっと若い世代に向けての、そういった人材発掘であったり、そういったものは取り組んでおります。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>ありがとうございました。飯田委員どうぞ。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>千葉県では、私、千葉でずっと委員をやっていたものですから、中学校2年生が職場体験を3日から5日やる中で、中央図書館に、必ず何名か受け入れていただいております、それをきっかけに何かボランティアしたいとか、友達もやりたいという話が広がったこともありましたので、そんな若い子たちが、図書館に足を向ける機会、何</p>

大木委員長	<p>かできることをやっていくという流れが，地域に広がっていくといいなと感じていました。</p> <p>そうですね。その若いティーンズ，ティーンエイジャーの方と，あと私みたいなシニアができるボランティアがあるかなというのはちょっと，今ふと思いましたけども，これからまた，何かアイデアがあれば，ぜひぜひ各図書館でもいいですし，何か挙げて欲しいなと思います。</p> <p>その他，ご意見ご質問等ございますか。力石委員お願いします。</p>
力石委員	<p>2点ございまして，1点目が先ほど緑が丘図書館さんの方で，文芸部の部員さんがボランティアをされているという話があったんですけどきっかけはどのようなものだったんでしょうか。</p>
森本館長	<p>私は緑が丘図書館の館長になって6年になりますが，緑が丘図書館と文芸部とはそれ以前から関係がありまして，実は私も，どういうきっかけでこのボランティアが始まったのかというのはよく知りません。ただ緑が丘図書館のスタッフのお子さんが，もともと萱田中学校に通っていたということがあり，そのスタッフと萱田中学校の子どもたちとの関係があったというところが，まずはきっかけだったのではないかと思います。</p>
力石委員	<p>これは私が新人のもので，ここで聞いていいかわからないですけど，そもそもこの指定管理者で3館やってらっしゃる，これにした理由となぜこの3館にしたのかというのを簡潔に教えていただけるとありがたいなと思ひまして。もし今の質問がそぐわなければまた後日で結構ですけど。ちょっと前から気になっていて。</p>
佐藤主査	<p>後日，書面で回答させていただきます。申し訳ありません。</p>
大木委員	<p>それでは，次の方，お願いします。</p>
鈴木委員	<p>I n s t a g r a mとかL I N E，ホームページなんですけど，多分ホームページというのはあのままでいいのかなと思います。</p> <p>I n s t a g r a mとかXもあのままなのかなと思うんですが。L</p>

LINEの登録者数がどれくらいいるかわからないんですけども。図書館の根幹である本を紹介するというのを、してもらえると私はうれしいなと思っていました、私が図書館に行ったときにいつも見るのが新刊です。実は「本だいすき！の会」というのはもう児童書をほとんど借りてますが、一応児童書でない大人の本もたまには借ります。そういうときには、やはり新刊をみたくになります。なので、新刊でなくても、例えばLINEはもう図書館ごとに独自のものなのではないでしょうか。ただ、もし独自のものであっても、例えば、共通で、大和田図書館にこういう本が入りました、緑が丘にはこういう本が入りましたという感じで、全部の図書館で1冊ずつでも載せていただいて、こういう本が入りました、どこの図書館でもそこで借りることができますという感じで、そういうのを載せていただくと、私はありがたいなと思います。それと、あとそれは新刊なんですけど、新刊でなくても、こういう本おすすめですよというのを紹介していただくと。例えばイベント情報ってたくさんあるんですね。Instagramを見るとこういうお話を読んだんだなど見るんですけど、そういうのではなくて、そういう新刊と同じように本を紹介するものも作っていただくと。図書館1冊ずつでいいので、そういうものを教えていただくと私としては、LINEはそういう役割ができるものなのかな、Instagramよりも、多分そういうものができるのかなと思うので、そういうものをしていただきたいなと思っています。すみません、これ私の要望です。

大木委員長

はい、貴重な要望ありがとうございます。LINEとかInstagramとかっていうのは、発信する側として、担当者が決まっているんですか。それとも随時自由にやっつけらっしゃる。

片村館長

はい、中央図書館は担当者がSNS広報担当が行っております。今お伺いした本を紹介するというようなもの、例えばこちらでも新刊案内というのは作っていますので、その新刊案内を、例えばお知らせしてあげるとか、そういったことは確かにできそうだなといったところで、いいご意見をいただけたなと思っています。ありがとうございます。

大木委員長

そうですね、今の鈴木委員さんのご意見も非常にいいなと私もお

寒河江委員	<p>聞きして思いました。それ以外、今に関することでも結構ですが何かご意見とかご要望とかございますか。寒河江委員お願いします。</p> <p>図書館年報のことで、聞きたいなと思ったんですが。23ページのところで地区別の登録者数があって八千代市内全体でいうと、20万全体の中で34.9%登録してるということなんです。これは結構高い方なのかなと思って見てたんですが、いろんな各市、八千代市以外とかと比べて、その辺の数字がどんな感じなのかなというのをちょっと教えていただければなあと思ったのと、あとその前のページで、年齢別のところが出ていて、これ面白いなと思ったんですけど、60歳から69歳のところが、1回下がってまた70代で上がってる。私ちょうどこの60歳代になってるので、ここは下がってるんだな、また上がってる、何だろうなど。すみません。単純な質問ですが、2点お願いいたします。</p>
三澤主任司書	<p>登録者数の関係につきまして、まず私の方から答えさせていただきます。先程ご質問のありました登録者数、市内でこの34.9%というのが近隣市に比べてどうなのかというご質問なんですけど、こちら登録者数の数え方が、各自治体によって異なるということはあるんですが、概ね八千代市は、千葉県内の図書館の中におきましても登録者数が高い水準となっております。千葉県内の図書館の個人貸出登録率は市町村平均27.4%という報告もありますので、そこから見ても高い数字となっております。</p> <p>年齢別の登録者数につきまして、70代以上、60代で1度下がりました70代が増加というところが、詳細な調査をしておりませんので、どうしてそうなったかというところはこちらも掴めてはおりませんが、図書館というところに居場所を求めていらっしゃる方が増えてきているのかととらえております。以上となります。</p>
寒河江委員	<p>私の居場所にはなってるのでありがとうございます。</p>
大木委員長	<p>よろしいですか、ありがとうございます。それ以外に何かございますか。ご質問とか、あと、ご希望とか。今日は10人全員参加ということで、大変ありがたいと思うんですけども。まだ、せっかくですから、ご意見をお述べになってらっしゃらない方も、一言で</p>

力石委員	<p>もよろしいので、ご感想等でも結構ですので、発言をしていただけるとありがたいと思いますが、いかがでしょうか。図書館とご自分とか、ご自分の周りの関係とか何でも結構です。</p> <p>本の寄贈制度ってあると思うんですけど、八千代市はどのぐらいされてるものなのか、もしできたらお願いできますか。</p>
石川館長	<p>寄贈本の正確な寄贈数につきましては、特に統計を取ってはおりませんので、ここで確たる回答ができないのは申しわけないです。ただ、各館のリサイクルのフェアを毎年秋ぐらいに実施し、非常に多くの方の利用がごございます。図書館からの除籍資料もそうですし、市民から寄贈されている資料も含め、リサイクル資料に対する需要は非常に高いと思っております。また、各館にリサイクル文庫という形で、いつでも誰でも匿名で本を寄贈し、利用していただく方に自由に持っていただく趣旨の小さな本棚がごございますが、そちらにつきましても、入れるとほぼ同時にお持ちいただくことも多く、よく活用していただいていると思っております。回答になっておりませんが、以上となります。</p>
力石委員	<p>統計がないってことが分かりましたので結構です。</p>
大木委員長	<p>今のことも結構ですし、それ以外のご意見とか、今日図書館協議会でこういうことやってるんだなという、ご感想でも結構です。申し訳ないんですが、ご意見やほんの一言でも結構です。</p>
赤崎委員	<p>子どもネット八千代は各図書館で、いつもチラシなどを置かせていただいております。ありがとうございます。図書館でいろいろな子育てに関する情報を得るっていう方も多いので、そういう意味でも、図書館というのは重要な場所だと思っているのですが、今日は、中でも書店とコラボされて活動されてるというお話、素晴らしいなと思ったんですけども、私たちも今年度は、「ちえんじ・図書室のすきまから」という子供向けの舞台作品を市民会館の大ホールで講演を行ったんですけども、その際にいくつかの図書館にご挨拶でお手紙を持って伺いました。今年は児童書でも人気のある「銭天堂」の、人形劇の講演の予定をしているので</p>

	<p>すが、そういったときに講演が有償であることから、なかなか一緒に活動していただくことが難しいのかなと思っていたのですけれども、書店さんともコラボされてるということで、私たちは非営利の活動ということなので、何か図書館ですとか、学校図書館ですとかそういったところと一緒に活動して、親子で図書館に足を運べるような活動ができればいいなと思いました。</p> <p>またイベント情報についてなんですけれども、イベント情報メールを私もよく見るんですけれども、講師がどなたなのかわからない場合というのが時々ありますので、どんな方が講師をされているのか分かると、より選びやすいのかなというふうに思っております。今日はありがとうございました。</p>
大木委員長	<p>ありがとうございます。子どもネット八千代はお子様たちですよ。それでは、お子さん繋がり、学校の方からは何かご意見ございますか。後ご希望とか、図書館との関わり方とか。</p>
中村委員	<p>ここ何年かこちらの方に来させていただいています。こちらに来ると、いろいろ図書館の取り組みで新しいものを、いつも何かしら取り入れていらっしゃる、またはここに来ていらっしゃる方たちの図書館に対しても高い意識というのを感じることができて、いつも楽しみに参加させていただいております。</p> <p>中学生というのはどうしても、前もお話したかと思いますが、部活動があったり、平日の放課後も土日も本当に忙しくはしているんですけれども、そんな中でも、調べる学習コンクールは、本当に中学校のどの学校にも認知されていて、それに向けて調べ学習に活用したり、また本校は「なぜなに大研究」といって自分の疑問を1つテーマに持って、夏休み前から調べていくというような取り組みをやっているんですが、そういうものもインターネットだけではなくて、参考文献に図書館の方にあげる生徒たちもいますし、そういうところで活用しています。</p> <p>また、今3年生が受験シーズンなんですけれども、受験勉強をする場所、家にいるとどうしてもなかなか集中できないけれども、図書館は本当にじっくりと勉強できるということで、高齢者だけでなく、子供たちの居場所にもなっているなということで、そういう意味ですごく恩恵を受けてるなというふうに改めて感じています。先程話</p>

<p>大木委員長</p>	<p>があった職場体験なんて話がありましたけれども、本校に限らず、コロナがあってから、職場体験に行くのをやめてる学校がとても多いんですが、本校の職員の中でも職場体験を復活させたいと言っている職員もいますし、それがちょっと現実味を帯びてきたら、ぜひ図書館にもというふうにした次第です。今日はありがとうございました。</p>
<p>北林委員</p>	<p>ありがとうございます。中学校の次で、小学校の方はいかがですか。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>はい。今日はありがとうございました。私、今回初めて参加をさせていただいて、皆様の意識の高さに本当に感服しております。各図書館いろいろな取り組みをされていて、それをお聞きして、どうにかして、子供たちと図書館をつなげたいなっていう思いを強くいたしました。ただ何分にも小学生ですので、学区の問題等々があるので、なかなかちょっと、その直接図書館に行くというのが難しい地域がありますので、やっぱりそれは学校の方でどうにかしていつてあげたいなという思いを強くしました。</p> <p>本校は朝の読み聞かせ等で、地域の方が来てくださったりしています。また昼休みにも来てくださっています。それを受けて、本校職員で、朝の読み聞かせの地域の方が来てくださるのに人数が足りない場合に、職員全員で本の読み聞かせをローテーション読み聞かせという形で行うような形にして、子供と本が出会うきっかけづくりを、学校の方でできたらと思って取り組んでいるんですが、それを何か図書館とつなげられたらまた、すてきな取り組みになるのかなというふうに思いました。できる限りなんか頑張っていきたいなということと、私も地域の小学校とか、他校の先生方にも発信していきたいなという思いになりました。今日はありがとうございました。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>ありがとうございます。今のお話だと地域と図書館とボランティアというのが、1つのサークルというか、サイクルというか、繋がるかなあという気がいたしました。最後になっちゃって申し訳ないんですけど、市民委員の佐藤委員さんは、みんなの考えを聞いていかがですか。</p>

<p>佐藤委員</p>	<p>今回初めて参加させていただいたんです。私は主に八千代台図書館で本を借りて返して借りて貸してということなんですが、その他にもいろいろイベントですとか、そういうことがあるんだなっていうことを、今日、知りました。また、活用させていただこうと思います。</p> <p>ちょっと旅行に行こうかなって思うときに、旅行の本を図書館に探しに行くんですけども、結構古い本ばかりなんです。入れ替えとかは難しいでしょうか。</p>
<p>石川館長</p>	<p>ご回答いたします。おおむね消耗品のガイドブックにつきましては5年程度のサイクルで、予算が少ない中でも入替を考えております。ただ、新しいガイドブックは、入ると予約が多く入りますので、最新の情報をお渡しできなくて恐縮です。予約がごございますので、ご旅行の期間との兼ね合いなどもあると思うんですけども、あらかじめ問い合わせをいただければ当館の方でもレファレンスのような形でご協力はさせていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>片村館長</p>	<p>今のガイドブックの件で、ひとつ中央図書館からちょっとおすすめの使い方というか、そういったものちょっとご案内させていただきたいところがございまして、実は八千代市電子図書館を採用しておりまして、スマートフォンですとかタブレットとか、電子図書館で、実はガイドブックを購入しております。それに登録していただいてそれを持っていいただければ、スマートフォンで見れるのと、スマートフォンが小さくて見にくければ、タブレットなどお持ちでしたらそちらの方に変えていただいで読んでいただくと、結構これ高齢者の方から、何気に、私もちょっとびっくりした人気です。なぜかという、本を持って行かない、嵩張らないで済むということですごく実は高齢の方に、結構人気というか、利用が多いんですね。なので、一応そういった電子図書館というところでも結構ガイドブックを買わせていただいでいますので、ぜひそちらも併せてご利用いただければと思います。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>図書と親しんでいくという大事な図書館なんですけれども、最近</p>

	<p>はA Iが非常に伸びてきまして、これとの兼ね合いも私はちょっと気にはなるんですけれども。それも上手に活字とA Iとつなげていければいいのかなと思って、学校の先生方もいらっしゃいますし、その辺はどうなのかなというのはちょっとお聞きしながら、頭をよぎっておりました。</p> <p>それ以外に何か皆さんございますか。</p>
寒河江委員	<p>すみません。質問ですけど、今度システムが変わると思いますけれども、何かそれによって便利になるところですか、運用方法が変わるみたいところで、利用する側のメリットがあるのかなということをお聞きできれば。ちょうど多分2月中旬ぐらいから3月にかけて、システムが使えなくて図書館も利用できないみたいな期間があったと思うんですけど、その辺を教えていただけると助かります。</p>
三澤主任司書	<p>私の方からお答えさせていただきます。新たなシステムになるということですが、新しく導入するものにつきましてはまだ検討段階となります。今回は、2024年1月に中央図書館の停電がありまして他の図書館も全て使えなくなるということがありましたので、そういったことが起きないように、中央図書館が仮に停電したとしても他の図書館が使えるというような形に変更させていただくというところが、大きな変更点となります。以上です。</p>
大木委員長	<p>そういうことがありましたね。はい、わかりました。ありがとうございます。それ以外に何かございますか。力石委員お願いします。</p>
力石委員	<p>私、大和田図書館が一番近いのですが、今更の話なんですけど、年報の令和6年度報告の2番目にアンケートがあってというのは、協議会委員になって初めて知りまして。たびたび大和田図書館を利用してはいたんですが、これは私の失念なんですけどアンケートがあること自身ちょっと全くわからずに、今にしてはちゃんと答えておけばよかったなと思うんですけども。もうここまで決まってしまったことなんで、蒸し返しはできないことは重々承知しているんですが、せめてこれで継続するんだったら前と同じ規模の建物は残し</p>

	<p>て欲しかったというのが地元の間人としては意見としてあります。</p> <p>ただ、まだ大和田は中央図書館に行けるっていうまだそういう身近な部分もあるので、そこまで大きなことはないと思うんですけど、やはりさっきの学区の話もありましたし、身近な図書館しか利用できない方と考えると、この減少っていうのはやはりそういう規模が小さくなったことによることも、どうしてもあると思うんですね。財政的なもの、もちろん今市役所の建て替えとかもありますし、資材高騰いろいろあると思います。これを覆すっていうのもなかなか難しいこともよくわかりますし、ただやはり地元の間人としては、何とかなという気持ちがあることは述べさせていただきたいと思っております。またもし何か増築等があるんだったらもちろん歓迎いたしますが、何かご考慮いただければありがたいなと。これは質問ではなくあくまで要望でございます。よろしく申し上げます。</p>
大木委員長	<p>ありがとうございます。その学区の問題とか、今ここにいらっしゃる方はアクセスのいい、きっと自由に使える方ばかりだと思うんですけど。例えば、阿蘇とか、ちょっと遠方の方たちは、どうしてるのかなって思うんですけども。やはり八千代中央図書館が一番、16号沿いで近いのかなとは思いますが、高齢者、私みたいな車も動かせないような間人の場合、どうやって図書館行くのかなと思ったりもしましたけれども。引っ越してきたばかりの時は、バスが本をいっぱい積んで走っていた気がするんですね。あれはもう最近は見かけないので、おやめになったんだろうと思うんですけど。ああいうのを、これから復活させるというのは特になさそうですか。</p>
岩崎主幹	<p>移動図書館については平成18年に廃止しておりますが、今後、現時点では再開の予定はありませんが、八千代市北部の阿蘇や睦の方に対しては、公民館に図書室がございまして、図書館に予約をしていただくと、その本が用意できましたら公民館図書室でお受け取りするサービスも行っております。</p>
大木委員長	<p>そうなんですね。全く存じませんでした。公民館を通して、図書館と繋がっていくってことですね。よくわかりました。ありがとうございます。</p> <p>それ以外にございますか。</p>

鈴木委員	<p>今のお話で、高齢になると結局足がないってことですよね。八千代の巡回バスのようなものを、ここでいう要望ではないですが図書館とかを走ってくれるといいなあとは思いますが。</p> <p>それとあと、やはり公民館等で本が借りられるというのを知らない人ってすごく多いと思うので、そういうのをもっと大々的に、ポスターとかでお知らせする、目につきやすいように、ちょっと派手にすると何かしらしてお知らせすると、もっと借りる人がいるのかなあとは思いますが。以上です。</p>
大木委員長	<p>ありがとうございます。そうですね、みんなに知らせるために、そういうのも、もしかしたら目に止まるかもしれませんが、利用に繋がる可能性もありますね。図書館の方々がどのように考えられるかちょっとわからないですけど。アイデアとして、できれば、私みたいにアクセスが悪い人間には、循環バスも含めてあったらいいなあと思います。</p> <p>一応皆さん全員お一言ずつは、ご意見とか、それからご質問を言っていたいただきましたが、あとは事務局や図書館の方から何かこれだけは言っておこうかなということはございますか。</p>
佐藤主査	<p>事務局より連絡がございます。次回の図書館協議会ですが、来年度の冬頃を予定しております。また近くなりましたら日程調整などをさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
大木委員長	<p>委員の皆様からご質問ご意見が大体出尽くしたかと思うので、他にないようでしたら、議題に関しましてはこれで終了させていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、令和7年度第1回図書館協議会を終わらせていただきます。皆様、本日は大変ありがとうございました。ご協力ありがとうございました。</p>